平令和２年１月度　理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　　令和元年１２月１０日（火）
２．開 催 日 時　　令和２年１月２１日（火）　１３時００分～１４時２０分
３．開 催 場 所　　東京都港区芝２丁目５番２号　東京グランドホテル　３階「菊の間」
４．理 事 総 数　　２２人
５．監 事 総 数　　３人
６．出席理事数　　２０人（本人出席２０人）
７．出席監事数　　２人（本人出席　２人）
８．出席理事の氏名
嶋崎 利行、原田 政吾、竹内 博次、曽根 光彰、南　直樹、齊藤 基樹、大屋 和雄、伊藤 雄平、宗村 進之介、秋山 正稔、山田　毅、田村 大輔、横山 聡洋、藤田 亮則、後藤 章洋、小澤 恒夫、富居 博治、玉木 寛之、上島　健、安室 篤志
９．出席監事の氏名
川崎 一郎、川村 道夫
１０．出席組合員の氏名
出席組合員はいない
１１．議長の氏名
嶋崎 利行
１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）
定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、嶋崎理事長が議長となり開会を宣し、ただちに議事に入った。

第１号議案　新規加入組合員について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、１月１日付と２月１日付で加入申込みのあった組合員２社について資料に基づき、報告があった。

〈組合員〉

会社名　　黒田精工 株式会社　　（加入年月日：令和２年１月１日）
代表取締役　黒田 浩史
住　所　　〒２１２-８５６０ 神奈川県川崎市幸区堀川町５８０－１６
川崎テックセンター２０階
TEL：０４４－５５５－３８００㈹、FAX：０４４－５５５－３５２４㈹
資本金　　１８億９２００万円
常時雇用従業員　６５０名　　熱処理部門従業員７名
取扱品　　駆動システム事業（ボールねじ、ボールねじアクチュエー等）
金型システム事業（精密プレス金型、精密プレス製品等）
機工・計測システム事業（工作機械・平面研削盤、ゲージ等）

会社名　　有限会社 第一熱処理　（加入年月日：令和２年２月１日）
代表取締役　武内 千里
住　所　　〒２１１-００５１ 神奈川県川崎市中原区宮内１丁目２６番１３号
TEL：０４４－７５５－５７２１、FAX：０４４－７５５－５７２４
資本金　　４００万円
常時雇用従業員　５名
取扱品　　金属熱処理加工（ソルト焼入れと浸炭）

有限会社第一熱処理について紹介者の玉木理事から補足の説明があった

嶋崎議長から、組合員が２社増え８５社になるが、ここに来て脱退を検討している組合員がいることに触れ、１００社加入を目指すのと同時に組合の魅力を構築して行きたい旨、述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく加入について承認された。

第２号議案　脱退組合員について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、今年度末での脱退の申し出があった組合員について報告があった。

大船熱錬 株式会社　代表取締役　荒巻 健太郎

嶋崎議長から、鉢蝋会長に連絡をし、慰留をしたが残念ながら脱退になったことの説明があった。

嶋崎議長は、組合員の脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　新年賀詞交歓会式次第について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、新年賀詞交歓会式次第、懇親会参加者及び講演会講師の略歴についての説明があった。講演会については、東京都中小企業団体中央会の支援事業を受けて開催することの説明があった。

嶋崎議長は、新年賀詞交歓会式次第について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　情報伝達方法に関するアンケート調査結果について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、情報伝達方法に関するアンケート調査結果について報告があり、「FAX 送信」から「メール送信」への移行については、概ね賛同を得られる結果であることの説明があった。

嶋崎議長から、経費の観点からも「FAX 送信」については段階的に「メール送信」に移行して行きたい旨述べられた。

後藤理事から、移行時期について質問があり、嶋崎議長から、５月の総会までには取りあえず移行したいことと約半年間の経過措置を考えたい旨述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５号議案　令和２年度事業計画案ならびに組合スケジュールについて

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、令和２年度事業計画案の各項目について説明があった。事業計画案及び組合スケジュールについては、今年度を踏まえて作成したこととマーケティング委員会及び総務委員会関係については、それぞれ２月、３月の委員会開催時に検討することの説明があった。

嶋崎議長から、１２月の例会については、過去何回か議論があったが、来年度については試験的に一度止めて様子を見てみたいとの発言があった。理事会は同時期に開催することとし、賛助会員 PR 会は、総会もしくは、理事会の後に開催するなど検討したいことの説明があった。

続いて東京工業大学の製造中核人材については、組合で１５名の受講者を確保したいことと ISO 内部監査員養成研修会については、品質と環境の統合型の開催することも検討する余地があるのではないかとの意見があった。青年部会については、関東経済産業局との連携を続けていきたい旨述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第６号議案　青年部会活動報告について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、青年部会の来年度活動計画について今月１５日に正副部会長で打合せを行ったことの報告があった。

続いて曽根副理事長から、活動計画について説明があった。

①組合員への講習会の開催を計画する。将来の飯の種となるような内容について、関東経済産業局と検討している。

②熱処理業界の PR について、東京都中小企業団体中央会の「組合まつり」への出展や DVD などを作成して披露する場を設ける。

③関東経済産業局との連携について、意見交換と情報の共有を行う。

④メンバーの意見や要望を聞いて、将来の熱処理業界や組合のことを検討する。

続いて田村部会長から、昨年１２月に関東経済産業局の戸川課長より、講習会の講師候補として「接合技術」に詳しい大学教授をご紹介いただき、お話を伺ったことの報告があり、次世代の材料や技術についての講習会を企画開催し、組合員及び賛助会員と情報を共有して行きたい旨述べられた。

嶋崎議長から、将来に対する種まきの活動については、組合として後押しして行きたい旨述べられた。

齊藤理事から、青年部会のメンバーには、業種にこだわらずに見聞を広めていただきたいとの意見があり、そのような企画も検討して欲しい旨述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動報告について全員異議なく承認された。

第７号議案　各委員会活動状況について

嶋崎議長の指名により、玉木理事から、１月１４日開催の第５回 BCP 推進 WG について資料に基づき説明があった。まず、トーマツのハンズオン支援が最後であったことと今月末には、連携型の認定申請を提出する段階まで来ていることの報告があり、今後、年１、２回定期的に WG を開催し、更新の準備をして行くことの説明があった。認定後３年間で計画を実施しなければならないので、今年中に組合の事業計画書を完成したいことの説明があり、エリア別にするなどの BCP の構想について説明があった。

秋山理事より、1 月１５日開催の１月度技術委員会及び品質委員会について説明があった。

技術委員会の主な内容としては、①講師の育成について（次世代講師の育成、撮影した講習会の映像の活用、中核人材修了者を講師候補）②令和２年度の活動計画について（初級熱処理塾でのグループディスカッションの取り入れ、実践型熱処理塾の毎年開催の検討）。

品質委員会の主な内容としては、①第４回品質活動発表会について、②令和２年度の活動計画について（「顧客対応の工程監査」をテーマとしてセミナーの開催、ISO 内部監査員養成講習会の隔年開催）。

嶋崎議長から、委員会活動状況について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第８号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、令和２年度（第７期）東京工業大学製造中核人材育成講座、初級熱処理塾、第４回品質活動発表会及び東海大学 SAS 技術講演会の開催について説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

続いて安室事務局長から、前段の正副理事長会において、会議・委員会に出席するのに片道１００㎞以上の移動を要する役員及び委員に出すことになっている旅費の補助について、実績見込み額（約５５万円）を報告したところ、来年度はその金額を Web 会議のシステム作りに充てたらどうかとの提案があったことの説明があった。

嶋崎議長から、将来への布石としてペーパーレス化をして、次に Web 会議のシステム作りをして行きたいことの説明があり、今年度で旅費の補助を止めたい旨の発言があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和２年１月２１日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　原田 政吾　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　大屋 和雄　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

出席理事　山田　毅　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

〃　小澤 恒夫　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　安室 篤志　㊞

出席監事　川崎 一郎　㊞

〃　川村 道夫　㊞